

2025 年 12 月 9 日

〒101-0024

東京都千代田区神田和泉町 1 番地 6-16

ヤマトビル 405

KING 有限責任事業組合

組合員 相良 健志 様

〒276-0020

千葉県八千代市勝田台北一丁目 11 番 16 号

株式会社地域新聞社

代表取締役 細谷 佳津年

質問状（3）

この度は、当社からの 2025 年 11 月 17 日付け「質問状」（以下、「質問状(1)」といいます。）に対して、貴組合より 2025 年 11 月 19 日付け「質問状の回答」（以下、「本回答書」といいます。）をお送りいただきまして、ありがとうございます。本回答書でのご返信をいただきましたので、今回より、分量の問題もあり、内容証明ではなく通常のレターの形式にてご連絡いたします。

追加でお伺いしたい下記(1)乃至(5)の各事項につきまして、**2025 年 12 月 15 日（月）まで**にご回答いただけますようお願い申し上げます。

なお、本書面において用いられる用語については、特段の断りのない限り、従前の質問状における用語と同一の意味を有するものとします。また、本書面及びご回答内容は、当社が必要に応じて公表することがあり、また、関係官公庁及び捜査機関等に情報提供することがありますので、あらかじめご了承ください。

記

（1） 本回答書で明確な回答がなかった事項

- ・ 質問状(1)の「（1）貴組合及び関連関係者の概要」において「主要な…顧問・助言者（法務・財務・投資等）」について質問させていただきましたが、本回答書ではこの点のご回答が見当たりませんでしたので、改めてご回答をお願いいたします。

（2） 他の株主との関係及び意思連絡の有無に関する追加質問

- ・ 質問状(1)の「（3）当社株式に関する意思連絡の有無」でご質問させていただいた事項に関して、同（3）の(ア)～(エ)で挙げた事実に加えて、下記の事実から貴組合

と一定の関係が存在することが合理的に疑われる①中谷正和氏、②三角朋広氏、③野本豊氏、④鈴木祥元氏及び⑤MTM Capital 株式会社（以下、「MTM Capital」といいます。）との関係（出資関係、資金の貸借関係、役員兼任関係、親族関係、ビジネス上の関係、出身校その他のコミュニティの中における人的関係及び一方の従業員、組合員その他構成員が他方の従業員、組合員その他構成員である又はあったことがあるなどの人的関係を含むが、これに限らない。）、並びに、当社株式の取得・議決権の行使・提案行為等に関する意思連絡の有無及びその詳細についてもご回答ください。

- (i) 中谷正和氏と三角朋広氏は共にソラ合同会社の代表社員を務めているところ、ソラ合同会社と本店所在地が同一のソラ株式会社（代表取締役は中谷正和氏）は、ピクセルカンパニーズ株式会社（以下、「ピクセルカンパニーズ」といいます。）の2023年3月6日付け「主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」によれば、ソラ株式会社は水たまり投資事業組合の業務執行組合員であり、ピクセルカンパニーズの2025年3月31日付け第39期有価証券報告書によれば、同組合はピクセルカンパニーズ株式を2,203,200株（2.38%）保有していること
- (ii) ①GFAの片田朋希・現専務取締役が2024年12月31日現在でピクセルカンパニーズの大株主に登場（第6位株主、持株割合0.971%）していること（ピクセルカンパニーズの2025年3月13日付け「第39期定時株主総会招集通知」参照）、②GFAの松田元・現代表取締役社長がピクセルカンパニーズの社外取締役であり、GFAの片田朋希・現専務取締役がピクセルカンパニーズの元社外取締役であること（同招集通知参照）、③ピクセルカンパニーズとGFAは2024年12月6日にAI特化型データセンター事業の構築を目指す基本合意契約を締結していること（両社の同日付け「GFA株式会社とピクセルカンパニーズ株式会社との基本合意契約締結に関するお知らせ」参照）、④GFAは、2024年12月24日付けで、株式会社Your Turnから、ピクセルカンパニーズの新株予約権37,000個を1,709万4,000円で譲り受けていること（ピクセルカンパニーズの2024年12月24日付け「第15回新株予約権の一部譲渡に関するお知らせ」参照）等、GFAとピクセルカンパニーズとの間には資本関係、人的関係及び取引関係があること
- (iii) 2014年9月9日付けで提出されたファーストメイク・リミテッドによるミナトエレクトロニクス株式会社株式に係る大量保有報告書及び2015年12月15日付けで提出されたファーストメイク・リミテッドによるミナトホールディングス株式会社（以下、「ミナトHD」といいます。）株式に係る大量保有報告書によれば、野本豊氏は単独で、また、（鈴木祥元氏と共に秀文

社印刷株式会社の代表取締役を務め、同住所に居住する) 鈴木伸幸氏と共に、ファーストメイク・リミテッドに金銭を貸し付けていること

- (iv) ①YN 企画代表社員である櫻井重彰氏が代表を務める情報システム総合研究所の取締役であって、サステナブル有限責任事業組合の 2 名の組合員のうちの 1 名であった菊本博之氏は、ファーストメイク・リミテッド(代表取締役は前一明氏)の監査役であること、②貴組合の組合員である相良健志氏は、ファーストメイク・リミテッドの元取締役であったこと、③GFA の片田朋希・現専務取締役が自らの会社である株式会社 M&J を通じてフィナンシャル・アドバイザーを務めたミナト HD が 2016 年 2 月 4 日に行った大規模第三者割当増資の引受人は、和円商事、合同会社 PTB、Brillance Multi Strategy Fund、Brillance Hedge Fund、有限会社 Cyberize(取締役: 戸部日登志氏) 及び株式会社 Financial Bridge(代表取締役: 中野智之氏) であるが、この件では、ファーストメイク・リミテッドが和円商事及び有限会社 Cyberize をミナト HD に紹介したとされていること(ミナト HD の 2016 年 1 月 19 日付け「第三者割当による新株式及び第 5 回新株予約権発行に関するお知らせ」参照)

- (v) MTM Capital が 2025 年 10 月 27 日に提出した当社株式に関する変更報告書 No.1 によれば、MTM Capital は、その保有する当社株式 596,200 株(15.94%)の全部を 2025 年 10 月 20 日に YN 企画に対して譲渡していること

(3) 当社株式の取得時期について

- 本回答書における貴組合の回答によれば、当社株式に係る第三者との連絡等は特にないとのことですが、他方で、貴組合が当社株式を取得したのは、2025 年 8 月 20 日(16,400 株)、同月 21 日(11,900 株)、同月 26 日(27,000 株)とご回答いただいているところ、振替口座簿記録事項通知によれば、同年 7 月から 8 月の間に、①バイオセラミック、②Happy horse、③中谷正和氏、④三角朋広氏、⑤野本豊氏及び⑥MTM Capital が相当数の当社株式を取得しております。これに関して、(i)貴組合が 2025 年 8 月 20 日から同月 26 日に当社株式を取得した経緯・理由及び信用取引の利用状況、並びに(ii)上記①～⑥の株主と当社株式の取得時期が重なったことについて思い当たる理由(もしあれば)をご教示ください。

(4) 当社株式の処分時期について

- 本回答書における貴組合の回答によれば、当社株式の処分に係る第三者との協議は特にないとのことですが、他方で、貴組合が当社株式を処分したのは、2025 年 10 月 22 日(55,300 株)であるところ、振替口座簿記録事項通知によれば、同月 20 日から同月 24 日の間に、①バイオセラミック、②Happy horse、③中谷正和氏、④野本豊氏及

び⑤MTM Capital が相当数の保有株を売却し、日本証券金融株式会社名義の株式が同日から同月 31 日までの間に大幅に増加しております。これに関して、(i) 貴組合が当社株式を処分したのが 2025 年 10 月 22 日になった経緯・理由及び信用取引の利用状況、並びに(ii) 上記①～⑤の株主と当社株式の処分時期が重なり、同時期に日証金名義の株式が大幅に増加したことについて思い当たる理由（もしあれば）をご教示ください。

- ・ 上記に関連して、貴組合は、現時点で当社株式を信用取引で買付けをしているという事実はないと理解して良いでしょうか。貴組合が当社株式を信用取引で買付けをしている事実があるということであれば、当該信用取引で保有している当社株式の数、当該信用取引で利用している証券会社の名称及び当該証券会社を選択した経緯・理由についてご教示ください。

(5) 当社株式の処分を一任したブローカーについて

- ・ 本回答書における貴組合の回答によれば、当社株式の処分についてブローカーに一任したため、当社株式の売却先は不明とのことですが、当該ブローカーの名称及び当該ブローカーを選択した経緯・理由についてご教示ください。

以上